

番組自動送出装置 SWB-06



ケーブルテレビ、ホテル、館内放送などで
効率のよいビデオ番組送出が可能です。

オール イン ワン

EIA4Uのコンパクトなボディに スケジューラ
VTRコントローラ, AVスイッチャー を一体化



VTRとモニターを接続するだけでシステム
運用が可能です。

主な特徴

制御できるVTR

RS-232C制御
RS-422制御

DSR-20, UVW-1200 (1400)
UVW , PVW等の9Pプロトコル機種

合計 6台までのVTRを制御可能

DSR-20



UVW-1200



PVW-2600



主な特徴

制御内容

VTR STOP, PLAY, 頭出し(サーチ)

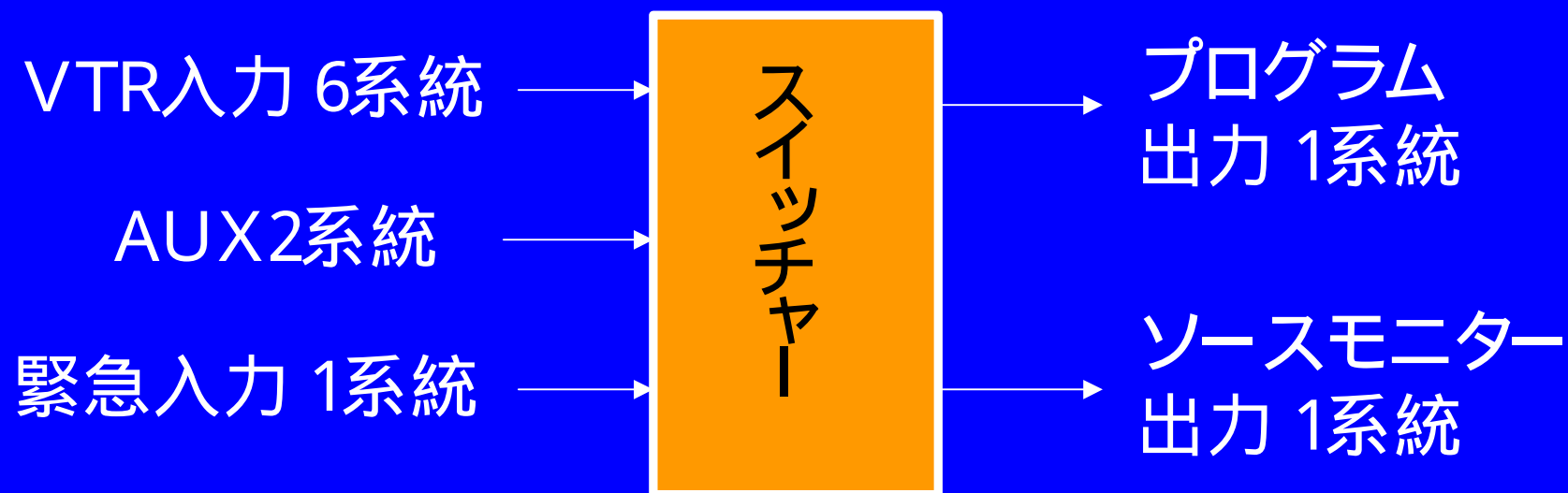
電源制御 (AC100Vコンセント)

DSR - 20の電源制御はコマンドによる

AUX 電源制御 (AC100Vコンセント)

映像音声入出力

9入力 2出力のAVスイッチャーを内蔵

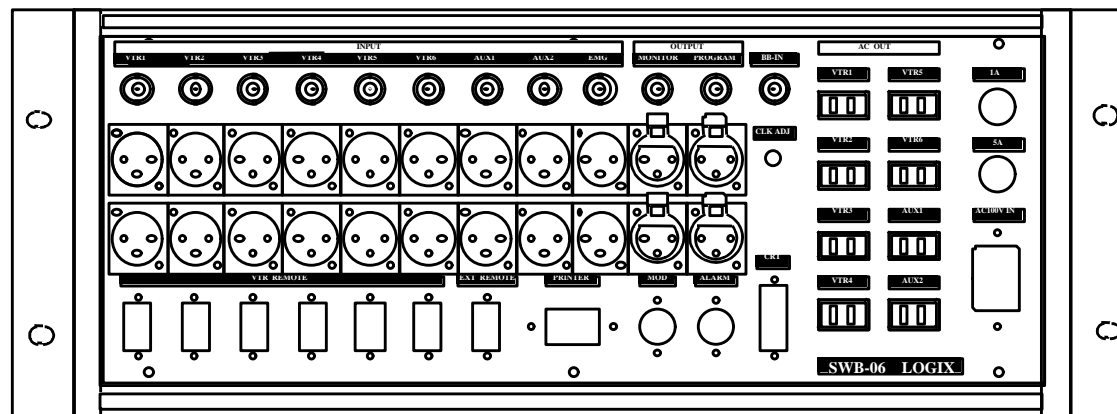


音声入力は 14dBのゲインコントロール可能

映像入出力 コンポジットビデオ 1Vp-p 75
BNCコネクタ

音声入出力 平衡 + 4dB 600 2チャンネル
XLR - 3コネクタ

リアパネル



音声入力は各ソースごとに14dBのゲイン調整が可能
なため、キャン系とライン系の混在にも対応します。

VTRバンク機能

1本のテープに複数の番組を入れ、個別に管理する機能



A, B, C, D各番組の始めと終わりのタイムコードを設定することで個別にスケジュールを組むことができます。

また、ABCをまとめて1つの番組とすることもできます。

1本のテープに最大9番組設定できます。

スケジュール機能

VTRバンク (9 * 6 =)54番組 ,AUX入力 2系統の組み合わせでスケジュールリングできます。

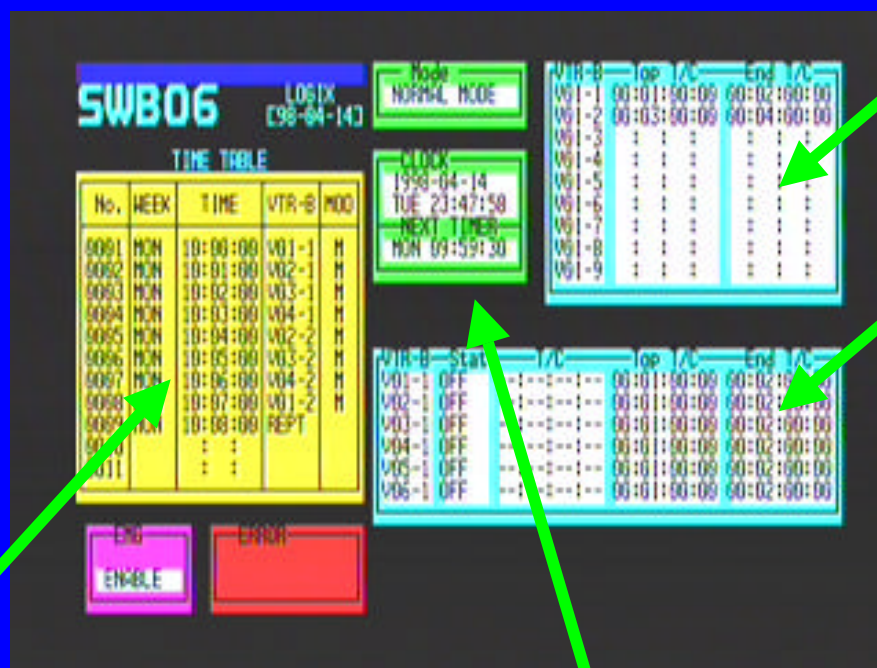
イベント数 MAX 1200 (カタログの1500は訂正)

内蔵時計は校正信号を入力することで時刻補正可能
(単体精度は月差約15秒程度)

VTR番組送出精度は数フレーム
(送出精度の調整、確認はヒストリーをプリントアウトすることで可能)

タイムテーブルモニター

タイムテーブル出力信号はSビデオです。



VTRバンク設定部

ステータス表示部

タイムテーブル
1200行入力可

時計表示部

簡単なタイムテーブル入力

なるだけ少ないキー入力で編集できるように実行時刻自動計算機能や、コピー、挿入、削除、再計算等の機能を組み込んであります。



10キーで入力します

運用中のタイムテーブル編集も可能

実行を止めることなく、タイムテーブルの編集ができます。

AVセレクター

フロントパネルのAVセレクターで電源制御、プログラム出力切り替え、ソースモニター切り替えが可能

タイムテーブル実行時でも切り替え可能です。

CONTキーと組み合わせてVTRコントロール

フロントパネルからVTRをSTOP, PLAY、頭出し制御できます。



変調器音声モード制御

番組ごとに音声モード(モノラル、ステレオ、音声多重)の制御が可能

プリントアウト

プリンタを接続すると、タイムテーブル、実行履歴設定状態を出力でき、トラブル対策に役立ちます。使用できるプリンタはセントロニクスⅡ Fのキャラクタープリンタ(DOS対応のもの)

エラー対策

停電時、データは保護されます。停電復帰後は停電前の状態に戻ります。

出力映像を監視し、同期信号を検出できないときはアラームを発生します。

指定したタイムコードを検出できないときにアラームを発生します。

緊急入力

AV入力端子です。このビデオ入力端子に映像が入力されるとタイムテーブルによる実行に割り込んで切り替えることができます。

火災情報などの入力として使用します。

設定で無効にすることも可能です。

自動頭出し

VTRバンクをたくさん設定しても次に実行するバンクの頭出し位置をチェックする必要はありません。

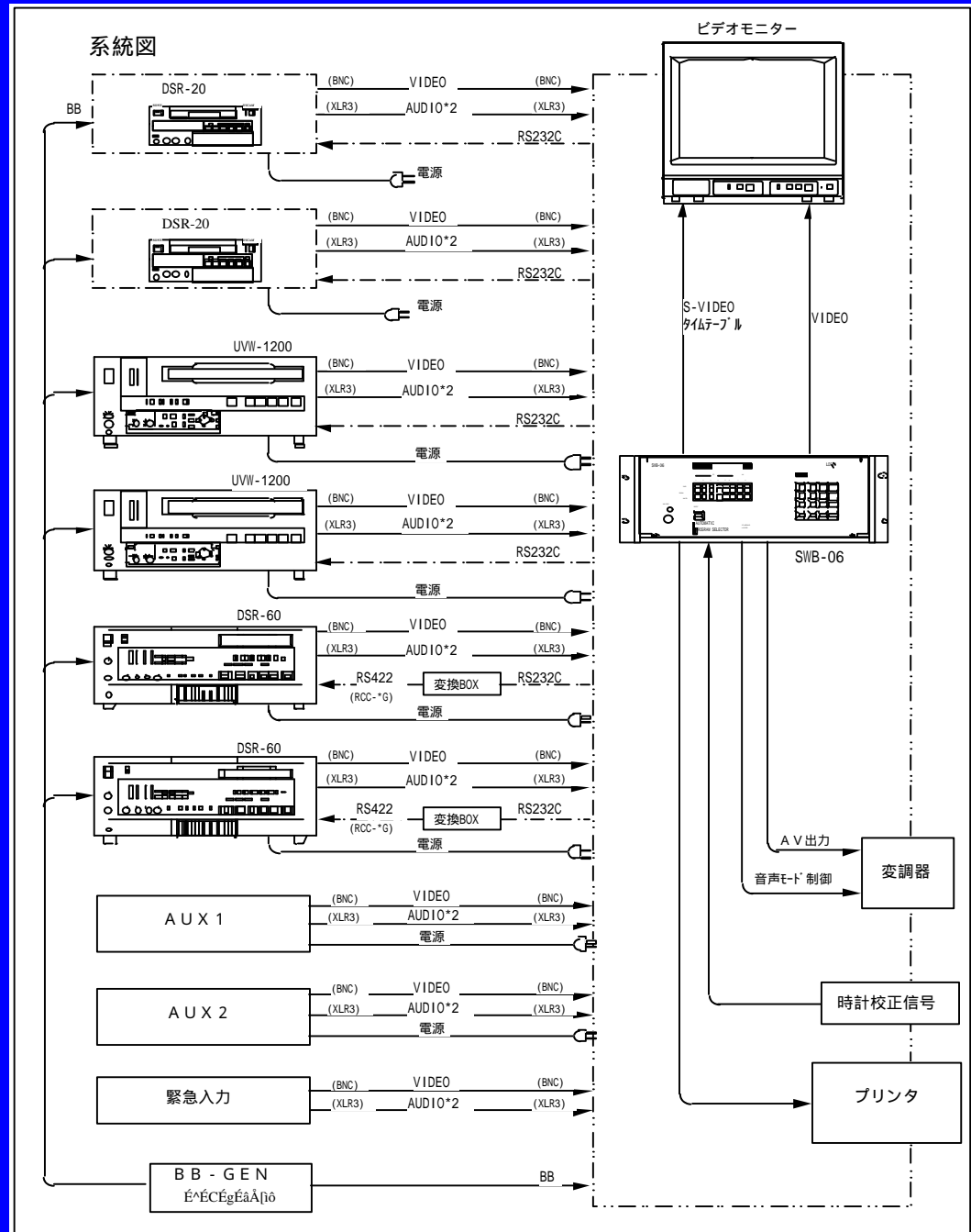
テープを挿入するだけで次に実行予定の位置まで自動的に頭出しをして、スタンバイ状態になります。

自動時刻補正

時計校正端子に校正時計を接続すると、自動的に内部の時計が校正されます。校正範囲は30秒です。

1日 1回程度の校正信号でOK

系統図



LOGIX